

自立活動だより

令和2年7月22日(水)

福島県立聴覚支援学校会津校自立活動係
第2号

今回の自立活動だよりでは、言語力・思考力を高めるための会津校の取り組みを3つ紹介したいと思います。

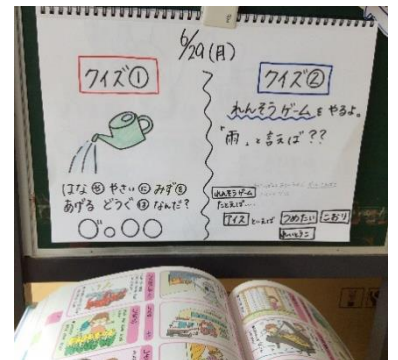
取り組み①：掲示板の活用

自分で情報を得て行動することをねらいとして、音楽や図工などの持ち物や場所を掲示しています。聞こえにくさのある子どもたちにとって、人の話だけを聞いていれば大丈夫というわけではありません。友達と必要な情報を確認し合ったり、資料から大事なキーワードを押さえたり、周囲から情報を得る力がようになってきます。そこで、小学部のうちから、自分から掲示板に目を向けて確認する習慣を身につけていくようにしています。



取り組み②：クイズ

思考力・言語力を高めることをねらいとして、「今日のクイズ」を毎日出題しています。身の回りの物の名前や学校で使う言葉などの単語を中心としたクイズ①、なぞなぞや連想ゲームなど思考力を中心としたクイズ②があり、実態に応じて行っています。物の名前が分からないことや、音と文字が一致していない（例：答えが「ピッキオ」なのに「ピッチオ」と答える。）ことがあります。答え合わせの時に教師とのやりとりを通して、正しい言葉を覚える良いきっかけになっています。



取り組み③：小学部合同自立活動

会津校では、音声言語を中心にやりとりをする児童、手話や指文字と一緒に音声言語でやりとりをする児童が在籍しています。児童同士の関わりの中



で、一方的に用件を伝えて終わる姿や教師の介入を必要とする場面が見られることがありました。そこで、

今年度より児童同士の伝え合う力を高めることをねらいとして、児童同士で丁寧なやりとりをする活動を月1時間設けて行っています。

第1回目は「友達を紹介しよう」というテーマで二つのグループに分かれ、グループ内で友達にインタビューを行い、聞き取ったことをメモし、他のグループに伝えるように友達を紹介する活動に取り組みました。指文字や手話で伝えようとする姿、聞き取れなかった時は「もう一回、教えてください。」と伝える姿が見られました。



お願い

夏休み中は、虫歯の治療や眼鏡の矯正などで病院や専門店へ行かれることがあります。子どもたちが毎日使用している補聴器や人工内耳の定期点検も夏休みを利用して行っていただきますようご協力お願いします。また、年に1回は耳鼻科や療育センターで、聴力検査を行っていただくことをお勧めします。聴力検査を行った際は、検査結果のコピーを学校へ提出していただきますようお願いいたします。